令和７年度補正予算・令和８年度補正予算　重点支援地方交付金の活用状況について
京都府南丹市

■実施状況　　＜令和８年８月時点＞

	令和７年度補正予算	令和８年度補正予算
交付限度額	4 億 3926 万円	1893 万円
うち令和７年度　交付決定額	4 億 3926 万円（100%）	—円（—%）
うち令和８年度　交付決定額	0 円（0%）	1893 万円（100%）
残額	0 円（0%）	0 円（0%）

■主な事業概要　※規模の大きい事業を最大５つ程度記載（詳細は別途実施計画をご覧ください）

生活者支援

◆生活支援事業　　事業費：３億２０２４万円（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

食料品等の物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するため、食料品等の購入に使える商品券を市民全員に１人あたり１万円分配布。

◆水道事業会計繰出・補助　　事業費：１億３０１８万円（R7&R8 補正を活用）

物価高騰の影響を受けている市民や事業者等を支援するため、令和８年６月～１０月使用分の５か月分の水道料金のうち基本料金部分（月額１，９８０円）を減免。

事業者支援

◆障害者福祉事業所支援事業　　事業費：１０５０万円（R7 補正を活用）

物価高騰の影響を受けている障害者福祉施設を運営する事業者の負担を軽減するため、交付金を交付。（入所系 15 千円/定員 1 人×461 人＝6,915 千円、通所系 7 千円/定員 1 人×467 人＝3,269 千円、訪問系　40 千円/事業所×8 事業所＝320 千円）

◆高齢者福祉事業所支援事業　　事業費：２３４１万円（R7 補正を活用）

物価高騰の影響を受けている高齢者福祉施設を運営する事業者の負担を軽減するため、交付金を交付。（入所系 15 千円/定員 1 人×1,267 人＝19,005 千円、通所系 7 千円/定員 1 人×390 人＝2,730 千円、訪問系　40 千円/事業所×42 事業所＝1,680 千円）

◆就学前教育・保育事業所支援事業　　事業費：４７０万円（R7 補正を活用）

物価高騰の影響を受けている私立の就学前教育・保育事業所を運営する事業者の負担を軽減するため、交付金を交付。（幼稚園 10 千円/定員 1 人×200 人＝2,000 千円、認定こども園 15 千円/定員 1 人×180 人＝2,700 千円）

※事業費の全部又は一部に本交付金を充当予定